

四、對支文化事務局ヲ廢ス
 五、商務官ヲ廢ス
 內務省及內務部内
 一、都市計畫局ヲ廢ス
 二、參事官ヲ廢ス
 三、監察官ヲ廢ス
 四、社會局統計課ハ內閣統計局ニ移ス
 五、社會局健康保險部ヲ廢ス
 六、復興局技監ヲ廢ス
 七、警察講習所長ハ內務高等官ノ兼任トス
 八、特殊財産管理局ヲ廢ス
 大藏省及大藏部内
 一、稅關ノ權限ヲ擴張シ現在港務部ヲ置ケ

ル地ノ稅關ニ於テハ港務海港檢疫事務及
 開港港則ニ依ル港内水上警察事務ヲモ併
 セ掌ラシム
 二、稅關ハ植物検査ニ關スル事務ヲ併セ管
 スルモノトス
 三、稅務監督局ハ八局ヲ改メテ七局トス
 四、海外駐劄財務官一人ヲ廢ス
 五、參事官ヲ廢ス
 陸軍省及陸軍部内
 一、徒來官房ニ於テ掌リタル會計事務ハ之
 ヲ經理局ニ併セ掌ラシム
 二、法務局長ハ高等軍法會議法務官ヲシテ
 之ヲ兼ホシム

三 参事官ヲ廢シ別ニ書記官ヲ置ク
四 常設師團四箇ヲ減ス(但シ新施設ノ實現

ニ 閉關ニ
五 旅團其ノ他國体及官衙學校ハ師團數ノ
減少ニ應ニ相當減少又ハ縮少スルモノト
ス

六 陸軍各部ノ組織ニ相當整理ヲ加フ
七 小學校教員ノ一年現後制ヲ改メ相當ノ

短縮ヲ加フ(短縮期間ハ陸軍文部兩省ニ於
テ協議ス)

八 恩給事務ニ従事スル臨時増置職員(勅令

ニ)ヲ廢ス
九 陸軍編修ヲ廢ス

〇 陸軍東京經理部ヲ廢ス

一 臨時陸軍中央金櫃部ヲ廢ス

二 陸軍幼年學校二校ヲ廢ス

三 聯隊區司令部ヲ減シテ五十七トス

四 現役大將ニ特ニ副官ヲ附屬セシムルノ

海軍省及海軍部内

一 機關局ヲ廢ス

二 法務局長ハ高等軍法會議法務官ヲシテ

兼務ス

三 参事官ヲ廢シ別ニ書記官ヲ置ク

四 海軍各部局ノ組織ハ相當整理ヲ加フ

五 舊型艦船ハ相當程度ニ放棄スル緊要ヲ

- ✓ 六 常備第一第二艦隊ニ對シ相當ノ編制ヲ加ヘ除隊艦ハ多ク豫備艦ニ編入ス
- ✓ 七 豫備艦ノ定員ハ勢々減少ノ方針ヲ採ル
- ✓ 八 遠航練習艦ハ大正十四年度ハ一隻ニ限
- ✓ 九 元帥副官(專任)ヲ一人ニ限定ス
- ✓ 〇 行實及恩給事務ニ従事スル臨時増置職員ヲ廢ス
- ✓ 一 臨時海軍監獄ヲ廢ス
- ✓ 二 海軍參考館ヲ廢ス
- ✓ 三 旅順防備隊ヲ廢ス

- 〇 陸軍東京經理部ヲ廢ス
- 一 臨時陸軍中央金櫃部ヲ廢ス
- 二 陸軍幼年學校ニ校ヲ廢ス
- 三 聯隊區司令部ヲ減シテ五十七トス
- 四 現役大將ニ特ニ副官ヲ附屬セシムル

海軍省

- 一 海軍省及海軍部内機關局ヲ廢ス
- 二 法務局長ハ高等軍法會議法務官ヲシテ兼テ
- 三 參事官ヲ廢シ別ニ書記官ヲ置ク
- 四 海軍各部局ノ組織ハ相當整理ス如ク
- 五 舊型艦船ハ相當程度ニ放棄スハ緊要ナ

- 六 常備第一第二ノ二艦隊ニ對シ相留ノ縮少ヲ加ヘ除隊艦ハ多ク豫備艦ニ編入ス
- 七 豫備艦ノ定員ハ努メテ減少ノ方針ヲ採ルモノトス
- 八 遠航練習艦ハ大正十四年度ハ一隻ニ限ル
- 九 元帥副官(專任)ヲ一人ニ限定ス
- 十 行賞及恩給ノ事務ニ従事スル臨時増置職員ヲ廢ス
- 一 臨時海軍監獄ヲ廢ス
- 二 海軍參考館ヲ廢ス
- 三 旅順防備隊ヲ廢ス

司法省及司法部内

- 一 人事局ヲ廢ス
- 二 参事官ヲ廢ス
- 三 區裁判所ノ權限ヲ擴張ス

文部省及文部部内

- 一 通信省所管商船學校ヲ文部省ニ移管ス
- 二 維新史料編纂事務局長ヲ廢ス
- 三 参事官ヲ廢ス

農商務省及農商務部内

- 一 農商務省ヲ農林省及高工省ノ二トス
- 二 農林省ニ内局トシテ左ノ四局ヲ置ク
 - 農務局
 - 山林局

水産局
畜産局

食糧ニ関スル事務ハ農務局ニ於テ掌ルモ

ノトス

参事官ヲ置カス

三、左記諸官衙ハ農林省ニ属セシム

林区署

水産講習所

種馬牧場

種馬育成所

獸疫調査所

農事試験場

蠶業試験場

生絲検査所

茶業試験場

種羊場

畜産試験場

園藝試験場

林業試験場

四、種羊場ハ北海道所在ノモノヲ存シ他ヲ

廢ス

五、畜産試験場ハ千葉ノ本場ノミヲ存シ他

ヲ廢ス

六、林業試験場ハ目黒本場ノミヲ存シ他ヲ

廢ス

七、大林區署中熊本及鹿兒島ノ大林區署ヲ

合セテ一トス

八、製材所ハ之ヲ拂下クルノ方針ヲ執ルモ

九、植物検査所ハ之ヲ大藏所管税関ニ移ス

十、商工省、内局トシテ左ノ三局ニ所ヲ置

商務局

工務局

鑛山局

度量衡檢定所

地質調査所

参事官ヲ置カス

三、左記諸官衙ハ商工省ニ屬セシム

特許局

鑛務署

製鐵所

絹業試験所

工業試験所

花菱検査所

臨時室素研究所

燃料研究所

陶磁器試験所

三、商品陳列館ハ之ヲ廢ス

二、特許局次長ヲ廢ス

一、製鐵所次長ヲ廢ス

逓信省及逓信部内

一、参事官ヲ廢ス
 二、監察官ヲ廢ス
 三、航空局ヲ外局ヨリ移シテ内局トス
 四、恩給更正郵便貯金奨励ノ事務ニ従事ス
 五、臨時職員ヲ廢ス
 六、商船學校ヲ文部所管ニ移ス
 七、道廳及府縣並其部内
 八、北海道産業部長ヲ廢ス
 九、府縣産業部長ヲ廢ス
 十、郡役所ヲ廢止スルノ目的ニ以テ調査ヲ行フコト
 十一、港務及海港檢疫ノ事務ヲ税関ニ移ス
 十二、各總ノ委員會ヲ廢止スルモノ左ノ如シ

一、法規整理委員會
 二、帝國經濟會議
 三、臨時條約改正調査委員會
 四、港灣調査會
 五、神社調査會
 六、明治神宮造營局評議委員會
 七、史蹟名勝天然記念物調査會
 八、臨時大都市制度調査會
 九、警視廳防疫評議委員會
 十、東京市道路評議會
 十一、臨時神戶港設備委員會
 十二、臨時門司港陸上設備委員會
 十三、臨時脚氣病調査會

- 一、特殊權利審査會
- 二、公民教育調査委員會
- 三、帝國大學經理委員會
- 四、不當廉賣審査委員會
- 五、炭坑爆發豫防委員會

閣甲第八五號
 十三年十月
 定 決
 年 月 日
 行 施
 年 月 日

内閣書記官長
 (印)

二十三年十月日 内閣書記官長

各省次官 究 通令

今因ノ行政整理ノ旨施ノ日取大略
 本月ノ閣議ニ於テ決定相成リ各省大
 臣宛 (陸海省各一名一八) 及通牒能處在